

20/3 期は米中問題やコロナ影響もあり 20.0%減収 45.9%営利減、20/3 期上期以降不透明

株価 14855 円 (4/24) 時価総額 30309 億円 (4/24) 発行済株 204031 千株 (4/24)  
 PER21/3 期 DO (81X) PBR (2.12X) 配当還元率 60%110 円 (DO 予) 配当利回り 0.7%

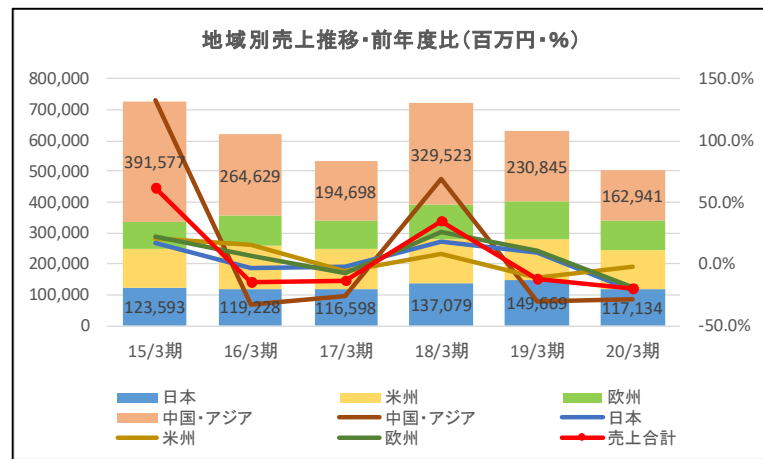
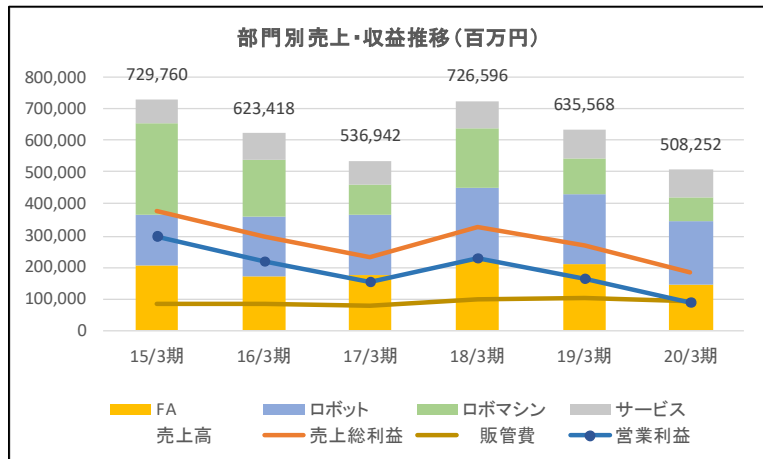
要約

- 20/3 期は米中問題やコロナ影響もあり 20.0%減収 45.9%営利減も総利益率は Q3 ボトム
- 21/3 期はコロナ影響不透明で会社側は 21/3 上期 24.2%減収、61.4%営利減予想のみ開示
- 22/3 期は世界的な設備投資の回復、新たな生産革命の進展の中心的企業として収益上伸へ
- 株価は Q1 次第で安値更新懸念あるが FA 代表企業として長期はポジティブ

20/3 期は米中問題やコロナ影響もあり 20.0%減収 45.9%営利減も総利益率は Q3 ボトム

4/24 に 20/3 期決算発表、電話会議が開催された。  
 20/3 期は売上高 5083 億円 (20.0%減)、営業利益 884 億円 (45.9%減)、経常利益 1028 億円 (44.0%減)、税引利益 734 億円 (52.4%減) と、米中問題やコロナ影響もあり、大幅減収減益となった。但し、1/29 の減額修正予想に対しては売上で 16 億円、営利で 78 億円上振れて着地した。

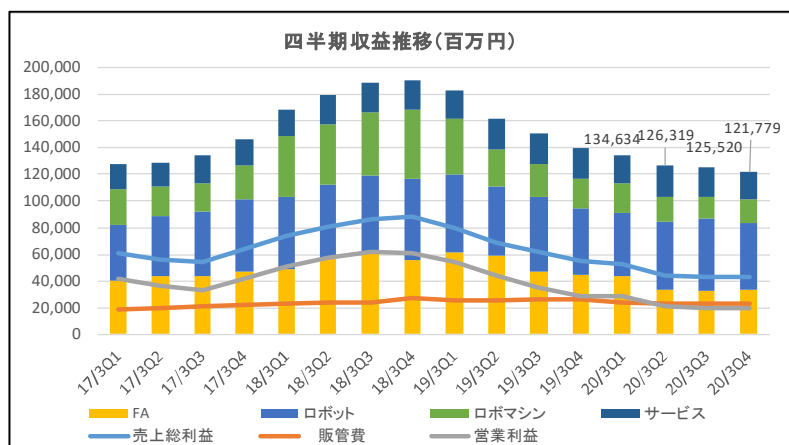
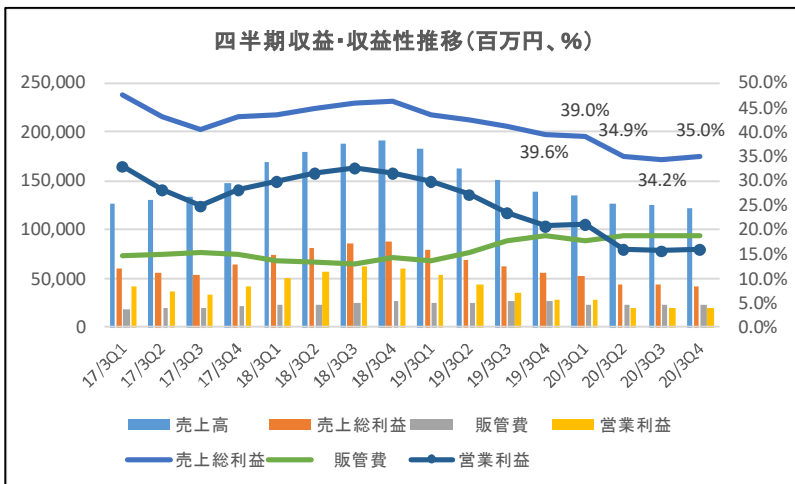
セグメント別売上で FA は CNC システムの主力ユーザーの工作機械業界が米中摩擦で国内、中国など全般に低迷、32.1%減の 1432 億円。ロボットは米州が堅調、日本も自動車向けが微増も、中国、欧州向けが低



迷、6.9%減の 2025 億円。ロボマシンはロボドリルが IT 向け需要の一巡、自動車向けも期末に失速、射出成形機は若干の減少と健闘も、全体では 34.9%減の 749 億円と低迷した。

サービス部門はきめ細かいサービス態勢強化で 4.7%減の 876 億円を確保した。地域別では全地域減少となったが、米国はロボットで大型受注もあり 2.7%減に止まる一方、日本、中国、その他アジアなどいずれも 20%超の落ち込みに。

四半期収益推移では Q4 が前年同期比 12.7%減収、22.8%総利益減、32.4%営業利益減も、Q3 比では 3.0%減収、0.8%総利益減ながら営業利益は 0.7%増となっている。コスト削減などが寄与、総利益率が Q3 の 34.2%に対して Q4 は 35.0%に改善、収益性では Q3 がボトムとなっている。



### 21/3 期はコロナ影響不透明で会社側は 21/3 上期 24.2%減収、61.4%営業利益減予想のみ開示

21/3 期はコロナ影響不透明で会社側は 21/3 上期のみの予想開示に止めた。21/3 上期会社予想は売上高 1979 億円（前年同期比 24.2%減、前下期比 20.0%減）、営業利益 189 億円（同 61.4%減、同 51.9%減）、経常利益 231 億円（同 59.5%減、同 49.5%減）、税引利益 164 億円（同 59.2%減、同 50.6%減）予想とした。コロナウイルス感染影響の世界的な影響から、ボトムを脱したと見られる中国、台湾などを除き、日米欧、東南アジアなどは Q1 の大幅落ち込みが見込まれ、受注残高が減少する Q2 に更に厳しさが増す見通し。特に自動車産業は日欧米で操業停止が相次ぎ、コロナ感染が一服し工場再開となった中国も販売不振が続いており、最大ユーザーとしての自動車産業向けは FA, ロボット、ロボマシンとも大きく低迷しよう。一部、半導体産業、5G 関連産業ではコロナ影響下でも下期急回復が見込めるものの、全体を補えきれないと判断される。このため、Q1 収益は Q4 の受注残高から

の売上を確保し、Q2は売上がボトムをつけ、上期は会社並みの収益が見込まれる。下期は今後のコロナウイルス対策の成否によるものの、既に自動車産業では新車販売の延期、各国のモーターショーの中止も相次ぎ、EV、安全・自動化投資を除き、大きく減少しよう。

利益面では極力設備投資を抑制、研究開発費も精査して抑制し、その他経費についても大きく削減するとみられるが、売上高減少幅が大きく、下期も回復は緩やかに止まるとみられる。

## 22/3期は世界的な設備投資の回復、新たな生産革命の進展の中心的企業として収益上伸へ

22/3期にはコロナウイルスの克服を前提に、世界の自動車生産の再拡大、EV、無人運転などの設備増強が活発化しよう。またコロナの影響から、リモートワーク、人を介さない無人工場ニーズの高まりが見込まれ、ロボット需要、IoT化ニーズの高まりでFA、サービス部門の伸長が見込める。さらに5Gの本格普及に伴い半導体設備投資、改めて高性能スマホ投資、IoT投資などが盛り上がりそう。この様な中で、同社の全部門について収益伸長が見込まれ、20/3期収益を超えるまでの回復が見込まれる。

## 株価はQ1次第で安値更新懸念あるがFA代表企業として長期はポジティブ

株価は12/16の21930円高値から米中摩擦激化、工作機械受注減などを背景に下落し、相場急落もあり3/19には12020円の年初来安値更新となった。現状、全体相違の戻りもあり3割程度戻った水準にある。今回本決算発表で21/3期は上期予想のみの開示であり、しかもコロナウイルス影響で大幅減益見通しとなっている。下期回復を見込んでもPERが高い水準にあり、FAの代表企業であり長期的にポジティブとは考えるものの、Q1の受注状況では下期回復が見込めない懸念もある。当面、同社や安川電機は中国をスタートに世界的な製造業の工場生産再開を株価上昇の材料としているが、自動車産業関連の21/3期設備投資抑制が明らかとなればこれを織り込む形で再度安値更新の懸念がある。

ファナック(6954)	(百万円、円)									
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当
19/3期	635,568	-12.5%	163,297	-28.9%	183,459	-26.5%	154,163	-15.3%	795.340	1003.13
20/3Q1	134,634	-26.4%	28,595	-47.5%	32,063	-47.2%	23,282	-47.9%	120.75	-
20/3Q2	126,319	-22.1%	20,429	-53.5%	25,027	-51.2%	16,903	-54.3%	88.16	125.35
20/3Q3	125,520	-17.0%	19,590	-45.1%	22,614	-41.3%	16,337	-65.3%	85.21	-
20/3Q4	121,779	-12.7%	19,736	-32.4%	23,112	-29.8%	16,849	-33.7%	87.77	174.65
20/3H1期初会予	266,400	-22.8%	41,300	-58.0%	44,800	-60.0%	31,200	-61.8%	160.97	-
18/3H1修正会予(7/29)	264,400	-23.4%	43,100	-56.2%	49,100	-56.2%	35,700	-56.3%	185.59	-
20/3H1	260,953	-24.4%	49,024	-50.2%	57,090	-49.0%	40,185	-50.8%	208.91	125.35
20/3H2期初会予	270,500	-6.9%	34,400	-47.0%	39,900	-44.1%	31,100	-57.1%	160.45	-
20/3H2修正会予(7/29)	259,800	-10.6%	28,200	-56.5%	31,900	-55.3%	24,600	-66.1%	128.26	-
20/3H2修正会予(10/28)	243,547	-16.2%	20,076	-69.1%	23,410	-67.2%	17,715	-75.6%	92.47	-
20/3H2修正会予(1/29)	245,747	-15.4%	31,576	-51.3%	34,810	-51.3%	25,715	-64.5%	134.09	-
20/3H2	247,299	-14.9%	39,326	-39.4%	45,726	-36.0%	33,186	-17.4%	172.98	174.65
20/3期期初会予	536,900	-15.5%	75,700	-53.6%	84,700	-53.8%	62,300	-59.6%	321.42	-
20/3期修正会予(7/29)	524,200	-17.5%	71,300	-56.3%	81,000	-55.8%	60,300	-60.9%	313.85	-
20/3期修正会予(10/28)	504,500	-20.6%	69,100	-57.7%	80,500	-56.1%	57,900	-62.4%	301.38	-
20/3期修正会予(1/29)	506,700	-20.3%	80,600	-50.6%	91,900	-49.9%	65,900	-57.3%	343.00	-
20/3期	508,252	-20.0%	88,350	-45.9%	102,816	-44.0%	73,371	-52.4%	381.89	300.00
21/3H1会予	197,900	-24.2%	18,900	-61.4%	23,100	-59.5%	16,400	-59.2%	85.49	-
21/3H1DO予	197,900	-24.2%	18,900	-61.4%	23,100	-59.5%	16,400	-59.2%	85.36	50.00
21/3H2DO予	212,100	-14.2%	23,100	-41.3%	26,900	-41.2%	18,600	-44.0%	96.96	60.00
21/3期DO予	410,000	-19.3%	42,000	-52.5%	50,000	-51.4%	35,000	-52.3%	182.45	110.00
22/3期DO予	580,000	36.8%	102,000	142.9%	110,000	120.0%	78,000	122.9%	406.80	250.00

年度	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 DO予
売上高	536,942	726,596	635,568	508,252	410,000
売上原価	303,415	398,398	369,761	326,095	287,000
売上総利益	233,527	328,198	265,807	182,157	123,000
販管費	80,310	98,594	102,510	93,807	81,000
営業利益	153,217	229,604	163,297	88,350	42,000
経常利益	168,829	249,525	183,459	102,816	50,000
親株主帰属純利益	127,697	181,957	154,163	73,371	35,000
地域別売上	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 DO予
日本	116,598	137,079	149,669	117,134	92,000
米州	134,915	144,954	128,572	125,121	105,000
欧州	87,449	110,378	122,179	99,157	69,000
中国・アジア	194,698	329,523	230,845	162,941	141,000
中国	107,835	215,917	120,900	88,600	85,000
アジア	86,863	113,606	109,900	74,400	56,000
その他	3,282	4,662	4,303	3,899	3,000
売上合計	536,942	726,596	635,568	508,252	410,000
セグメント売上情報年度	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 DO予
FA	175,016	222,254	211,088	143,247	105,000
ロボット	190,043	227,827	217,526	202,491	169,000
ロボマシン	93,939	190,182	115,056	74,912	53,000
サービス	77,944	86,333	91,898	87,602	83,000
合計	536,942	726,596	635,568	508,252	410,000
減価償却費・研究開発費	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	
設備投資	87,509	116,110	133,100	70,500	
減価償却費	26,530	34,190	39,700	45,900	
研究開発費	42,331	52,956	56,200	51,300	
年度	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 DO予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上原価	56.5%	54.8%	58.2%	64.2%	70.0%
売上総利益	43.5%	45.2%	41.8%	35.8%	30.0%
販管費	15.0%	13.6%	16.1%	18.5%	19.8%
営業利益	28.5%	31.6%	25.7%	17.4%	10.2%
経常利益	31.4%	34.3%	28.9%	20.2%	12.2%
親株主帰属純利益	23.8%	25.0%	24.3%	14.4%	8.5%

